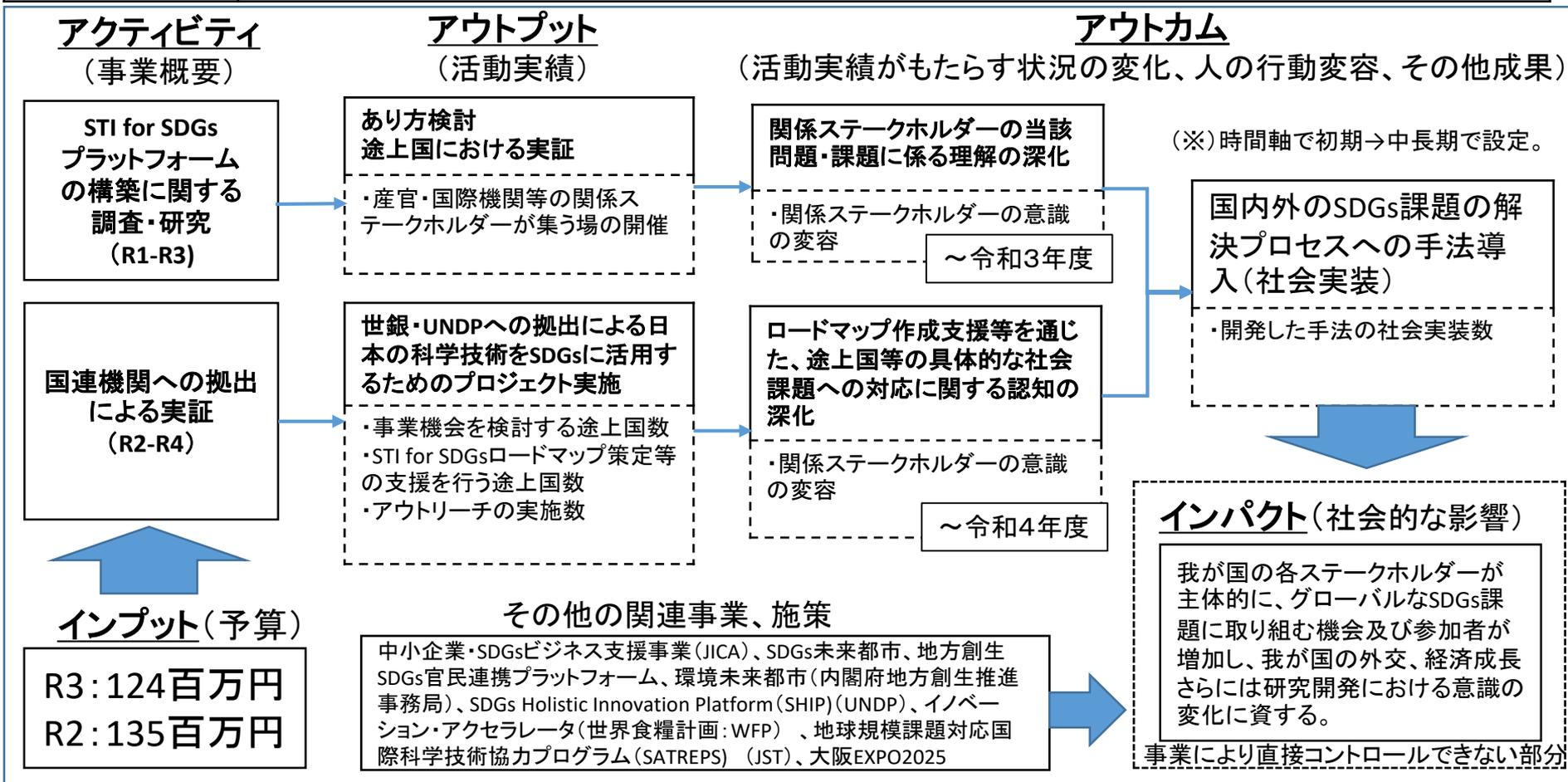


(別紙) ロジックモデル

解決すべき問題・課題	我が国の優れた科学技術イノベーションを国際展開し、世界のSDGs達成に貢献するには、相手国の問題・課題の状況を十分理解した上で、我が国の科学技術を活かすことが必要である。また、国連機関が把握する途上国等におけるSDGsの課題やニーズに対して、我が国の科学技術が外交及び経済成長に資する継続的な貢献ができるかについて、実証を通じた事例作成が必要である。
上記問題・課題と事業との関係	我が国の科学技術と国内外のSDGsニーズを結ぶ取組を「STI for SDGsプラットフォーム」として、そのあり方から実証までを3カ年の調査・分析により実施する。また、途上国等のSDGsに関する課題・ニーズを把握する国連機関として世界銀行に対して拠出を行い、世界銀行(世銀)が実施するケニアでのプロジェクトに日本がインドと連携した取り組みを実施することとした。さらに同様に世界の途上国等で、イノベーションを前提とした課題・ニーズの抽出を実施している国連開発計画(UNDP)に対して拠出を行い、インド、マラウイ、フィリピン、トルコ、ベトナムにおける活動の中で、日本の科学技術の活用を検証を行なっている。



(注1) アウトプット及びアウトカムの点線枠内には、何をもってアウトプット及びアウトカムを測るのかを記載する。
 (注2) アウトカムを定量的に測ることが困難な場合には、代替となる事項をもってアウトカムを測ることの相当な理由も同枠内に記載する。